

(別添2-10)

## 通信学習実施計画書

### 1 講義を通信の方法によって行う地域

三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県とする。

### 2 添削指導の方法

「自宅学習期間の質問方法」

ファックスまたは、e-mailによるものとする。

添削担当講師：講師一覧参照

ファックス番号： 06-6150-1307

メールアドレス：info@jrhm.jikei.com

### 3 科目別通信学習時間

科目番号・科目名	通信学習時間	通信形式で実施できる上限時間 (別紙3より)
(2) 介護における尊厳の保持・自立支援	5時間	5時間
(3) 介護の基本	3時間	3時間
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携	7.5時間	7.5時間
(5) 介護におけるコミュニケーション技術	3時間	3時間
(6) 老化の理解	3時間	3時間
(7) 認知症の理解	3時間	3時間
(8) 障がいの理解	1.5時間	1.5時間
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術	12時間	12時間

### 4 通信学習課題配布・提出標準日程

通信学習課題は、開講オリエンテーション時に配布する。

課題Ⅰ・Ⅱは、指定された講義日（開講日より10日以上経過した講義日を定める）に提出する。

課題Ⅲは、指定された講義日（開講日より11日以上経過した講義日を定める）に提出する。

なお、各課題の提出日は、開講オリエンテーション時に文書で告知する。

### 5 通信学習課題

○課題数 1種類

○出題形式：課題① 選択 7問、穴埋 48問、記述 11問 全 66問

課題② 選択 12問、穴埋 52問、記述 7問 全 71問

課題③ 選択 12問、穴埋 39問、記述 6問 全 57問

○出題数：(2)介護における尊厳の保持・自立支援 21問

(3)介護の基本 17問

- (4)介護・福祉サービスの理解と医療連携 28問
- (5)介護におけるコミュニケーション技術 28問
- (6)老化の理解 19問
- (7)認知症の理解 15問
- (8)障がいの理解 9問
- (9)こころとからだのしくみと生活支援技術 57問

## 6 評価基準

6割以上を合格とする。(提出期限日までに提出すること)

課題は予習を兼ねているので、解らない問は事前に質問するなどし、原則として、すべての問に解答すること。

合格基準を満たさなかった場合は、再度課題を配布する。なお、再提出期限は、指定日(配布日から、3日以上の日程を設ける)とする。再課題実施の結果、合格できなかった者は未修了扱いとなるため注意すること。未修了となった場合も既納の受講料は返還しない。

## 7 通信添削業務受託事業者

- (1)当法人で実施する。